

2017年度の事業を紹介いたします

2017年、埼玉県国際交流協会は設立30周年を迎えます。協会では「国際交流・国際協力活動の充実」「多文化共生社会の実現」「国際的に活躍できる人材の育成」を3つの柱として、今後もグローバル化する社会に貢献していきます。

協会設立30周年事業

昨年、協会設立後初めて協会のあるべき姿として協会ビジョン「サラダボウルSAITAMA」を策定しました。日本人、外国人を問わず、埼玉県に暮らすすべての人が力を発揮して活躍できる社会をつくりたいという思いを込めました。

また、埼玉県でも2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催など、外国人観光客の増加が見込まれており、日常生活でも外国人と接する機会が一層増えてくるものと思われます。

そこで今年、30周年記念事業として「730万人の国際理解プロジェクト」を立ち上げます。県民の皆さんに、もっと外国のこと、また外国人のことを身近に興味を持って知ってもらいたいと思っています。今後、この紙面でも詳細をお知らせしていきます。ご期待ください!

国際交流・国際協力活動の充実

外国人案内ボランティアの育成

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを始めとする国際スポーツ大会や、外国人観光客の増加を見据え、街中で外国人の案内を行うボランティアを育成します。2017年度は開催回数を大幅に増やし、年間で合計1,500人に受講していただく予定です。→詳しくはP6をご覧ください。



ホームステイ・ボランティア(ホストファミリー)の登録・紹介

ホストファミリーの募集及び登録を行い、外国人留学生や日本語国際センターの研修参加者等を紹介することによって、県内家庭での滞在を通し日本文化に対する理解と地域住民との交流を促進します。

また、受入希望の家庭やホストファミリー向けに受入方法や情報共有を目的とした研修を新たに実施します。

- 通訳・翻訳ボランティアの登録・紹介
- 「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」の運営
- 彩の国さいたま国際協力基金助成事業
- 中古資機材の開発途上国への仲介
- 国際フェアの開催

多文化共生社会の実現

市町村国際交流協会との連携

市町村国際交流協会とネットワークを結び、共通課題の検討、連携・支援体制を構築します。

- 外国人総合相談センター埼玉の運営
- 外国人無料法律相談
- 外国人のための災害時支援
- 高校進学ガイダンス
- ホームページの多言語(英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語)情報発信



国際的に活躍できる人材の育成

奨学金支給事業

「埼玉発世界行き」奨学金支給事業は世界で活躍する意欲と能力のある若者を応援する目的で2011年度に始まりました。今年度から新たな枠組みで留学生を支援していきます。

学位取得コース、地域活躍コース、高校生留学コースの3コースで計90人を募集します。応募要項等、詳しくはホームページをご覧ください。

「グローバル人材育成センター埼玉」の運営

海外留学を経験した日本人学生と外国人留学生の両者を対象に、留学前から留学後の県内企業への就職までトータルに支援するセンターを運営し、世界を舞台に活躍できるグローバル人材の育成を推進します。

留学生向け就職活動スタートアップガイダンス

海外留学を経験した日本人学生と外国人留学生を対象に、就職活動の心構えやインターンシップ制度をガイダンスし、就職活動のスタートを支援します。

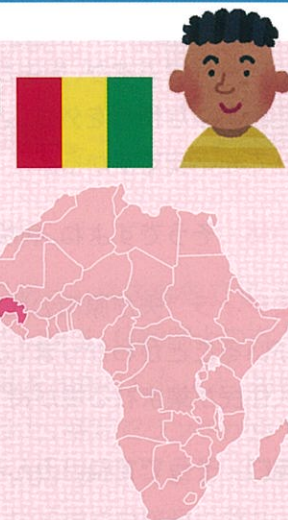
- 就職支援
- 高校生のためのグローバルセミナーの開催
- 「世界へのトビラ」事業



第5回 ギニア共和国



前列中央がシセさん



埼玉県にゆかりがあり、海外に住んだことのある方にその国の紹介をしていただくシリーズ「世界の国からこんにちは」。

今回は、2008年に留学のため来日し、現在は埼玉県内で通訳やシステムの仕事をされているシセ セク アハメド ティジャンさんに、出身国「ギニア共和国」の紹介をしていただきます。

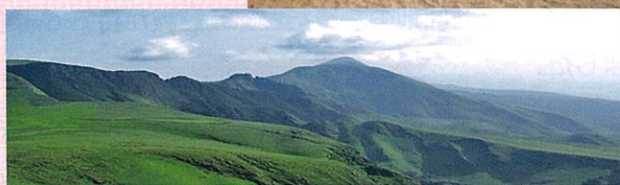
世界で最も雨量の多い首都コナクリ

ギニア共和国は西アフリカ南西端の大西洋に面した国です。首都コナクリのある海岸部は熱帯雨林の広がる平野で、そこから内陸に入るとフータ・ジャロン山地があり、草原が広がります。標高1752mのニンバ山を含む世界遺産「ニンバ山厳正自然保護区」にはここにしかない珍しい植物や動物も数多くいて、野生のチンパンジーの生息地としても有名です。

首都コナクリでは雨季(5月～10月)には4,000mmの雨がまるで滝のように降ります。コナクリは「世界で最も雨量の多い首都」と言われています。



首都コナクリの海岸



最高標高1500メートルのフータ・ジャロン山地

街では...



首都コナクリのグランドモスク

ギニアは車社会で街のあちこちで渋滞が起きています。一番多いのは日本車で、雨季のでこぼこ道でも日本車は快適です。

陽気なアフリカの音楽も至る所から聞こえてきます。コナクリにある人気の観光スポット「サンタマリア大聖堂」でも、伝統的なクリスチャンの音楽だけでなく、アフリカの音楽を流しています。

イスラム教徒が全体の9割いると言われているギニアで有名なのはコナクリのグランドモスクです。

アフリカで4番目に大きいモスクで、その大きさと神聖さに圧倒されます。イスラム教徒でない人も見学できます。

雨季に大量の雨が降るにもかかわらず、水道や電気はあまり整備されていません。そのため度々停電が起こります。また、ギニア人は水をよく飲みますが、水道水でも不衛生なため、ビニールに入っている一回分の安いミネラルウォーターを買って飲んでいきます。

ギニアの国花は「イネ」

「国花が「イネ」？」と不思議に思うかもしれませんが、主食はお米です。

また、ギニアは新しい品種の米で自給率を高めた経緯もあり、イネとの関係が深いのです。ギニアでは80%以上が農民で、お米の他にもキャッサバや、コーヒー、パイナップル、バナナなどを作っています。食事の基本は「ぶっかけご飯」で、「スープ」と呼ばれるピーナツソースや魚のトマトソース煮、青菜のソースなどをご飯にかけて食べます。

ギニア人は音楽好きで陽気です。あらゆる場面で西アフリカの伝統太鼓「ジャンベ」の演奏やアフリカンダンスを見聞きすることができます。また、ギニアは豊かな自然がそのまま残っていて、神秘的な観光スポットも多くあります。ツアーで行くこともできますので、ぜひ乾季の時期に遊びに来てください。



ご飯と「スープ」